

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年7月15日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	伊佐市 (46224)
地域名 (地域内農業集落名)	山野地区 (小木原上、小木原上中、小木原下、小木原東、春村、小木原中、停車場、境目、堺町、仲町、本町、本山野、上松、下之馬場、上之馬場、尾之上、荒平、小川内、石井、井立田、三日月、押野々、布計、五女木、竹屋敷)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	407 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	407 ha
② 田の面積	382 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	25 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	32 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	23 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	53 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	50 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、県境の国有林に広く隣接する地域であり、シカやイノシシによる被害が多い。平地部では大規模農家や農業法人を中心に水稻を主とした営農が行われているが、農地が分散しており作業効率があまり良くない。農業者の平均年齢は62歳であり、高齢化に伴う離農者の増加や後継者不足が課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

基幹作物である水稻を主要作物とし、肉用牛や野菜等の経営を今後とも推進する。認定農業者や新規就農者を中心に、農地の集約化を推進していく。
鳥獣害対策について地域一体となって取り組むとともに、農地の大区画化や汎用化に向けた基盤整備事業の導入についての検討を進め、実施に結び付ける。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
今後高齢化等で離農する農地に対し、農地バンクの活用を呼びかけ、担い手への集積を推進する。担い手が不足する場合は、地域内外から多様な経営体を募るなど、耕作放棄地を発生させないよう継続して取り組んでいく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	70	%	将来の目標とする集積率
			75 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
平地の農地はおおむね担い手への集積が進んでいる。中山間の空き農地があった場合には、隣接する耕作者が借り受けるなど集約化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
認定農業者や新規就農者を中心に農地の集積・集約化を推進し、耕作放棄地とならないよう地域一体となって取り組んでいく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用した基盤整備事業への取り組みを検討する。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業の実現に向けて関係者の意向を把握しながら、地域全体の意識醸成を図っていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
離農する高齢農家の経営農地を規模拡大を図る経営体へ継承するなどし、地域全体で農地の維持に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農用地区域内等で安全に農作業ができる農地においては、無人ヘリによる農薬散布を委託するなどし、農作業の効率化を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①市鳥獣被害防止計画により、捕獲や防止柵設置を今後とも継続していくほか、市内の有害鳥獣処理施設により解体・加工されたジビエ肉活用の普及・周知を行っていく。
- ②家畜排せつ物堆肥化肥料の利用を推進するなど、消費者ニーズも踏まえつつJAと連携し、営農指導を行っていく。
- ⑨耕作放棄地となっている農地での飼料用作物栽培を推進するなど、飼料の市内生産を推進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	(別紙)								
計	40経営体		295 ha	0 ha		318 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農		水稻、加工用米、トマト、メロン、大豆	36.5 ha	0 ha	水稻、加工用米、トマト、メロン、大豆	38.2 ha	0 ha	1	
2	認農		水稻、たまねぎ、かぼちゃ	29.8 ha	0 ha	水稻、たまねぎ、かぼちゃ	31.2 ha	0 ha	2	
3	認農		水稻、トマト、ぶどう	24.9 ha	0 ha	水稻、トマト、ぶどう	26.1 ha	0 ha	3	
4	認農		水稻、トマト	20.6 ha	0 ha	水稻、トマト	21.6 ha	0 ha	4	
5	認農		水稻	20.0 ha	0 ha	水稻	21.0 ha	0 ha	5	
6	認農		水稻	19.4 ha	0 ha	水稻	21.2 ha	0 ha	6	
7	認農		水稻、大豆	16.6 ha	0 ha	水稻、大豆	18.2 ha	0 ha	7	
8	認農		水稻、大豆	13.0 ha	0 ha	水稻、大豆	14.3 ha	0 ha	8	
9	認農		水稻、ねぎ、大豆、 その他野菜	12.1 ha	0 ha	水稻、ねぎ、大豆、 その他野菜	13.3 ha	0 ha	9	
10	認農		水稻、肉用牛、 その他果樹	10.8 ha	0 ha	水稻、肉用牛、 その他果樹	11.9 ha	0 ha	10	
11	認農		水稻、ねぎ	9.6 ha	0 ha	水稻、ねぎ	10.5 ha	0 ha	11	
12	認農		水稻、肉用牛	9.2 ha	0 ha	水稻、肉用牛	10.1 ha	0 ha	12	
13	認農		水稻、ねぎ	8.2 ha	0 ha	水稻、ねぎ	9.0 ha	0 ha	13	
14	認農		水稻、大豆	8.2 ha	0 ha	水稻、大豆	9.0 ha	0 ha	14	
15	認農		水稻、生産牛、ねぎ、 その他野菜、 その他果樹	7.7 ha	0 ha	水稻、生産牛、ねぎ、 その他野菜、 その他果樹	8.5 ha	0 ha	15	
16	認農		茶	7.6 ha	0 ha	茶	8.3 ha	0 ha	16	
17	認農		水稻、肉用牛	5.8 ha	0 ha	水稻、肉用牛	6.4 ha	0 ha	17	
18	到達		水稻	5.2 ha	0 ha	水稻	5.7 ha	0 ha	18	
19	利用者		水稻、大豆	5.2 ha	0 ha	水稻、大豆	5.7 ha	0 ha	19	
20	認農		水稻、かぼちゃ、ぶどう、 そば、その他果樹	3.9 ha	0 ha	水稻、かぼちゃ、ぶどう、 そば、その他果樹	4.3 ha	0 ha	20	
21	認農		水稻、肉用牛	3.1 ha	0 ha	水稻、肉用牛	3.4 ha	0 ha	21	
22	認農		その他果樹	2.9 ha	0 ha	その他果樹	3.2 ha	0 ha	22	
23	利用者		水稻	2.2 ha	0 ha	水稻	2.4 ha	0 ha	23	
24	認農		酪農、飼料作物	2.2 ha	0 ha	酪農、飼料作物	2.4 ha	0 ha	24	
25	認農		水稻、トマト、かぼちゃ	1.9 ha	0 ha	水稻、トマト、かぼちゃ	2.1 ha	0 ha	25	
26	認就		肉用牛（繁殖）	1.8 ha	0 ha	肉用牛（繁殖）	2.0 ha	0 ha	26	
27	利用者		水稻	1.4 ha	0 ha	水稻	1.5 ha	0 ha	27	
28	認就		水稻、大豆、かぼちゃ、 ごぼう	1.1 ha	0 ha	水稻、大豆、かぼちゃ、 ごぼう	1.2 ha	0 ha	28	
29	認農		養鶏	1.1 ha	0 ha	養鶏	1.2 ha	0 ha	29	
30	認農		水稻、かぼちゃ	0.8 ha	0 ha	水稻、かぼちゃ	0.9 ha	0 ha	30	
31	利用者		水稻	0.7 ha	0 ha	水稻	0.8 ha	0 ha	31	
32	利用者		水稻	0.5 ha	0 ha	水稻	0.5 ha	0 ha	32	
33	認農		水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	0.4 ha	0 ha	33	
34	認農		酪農、肉用牛、飼料作物	0.3 ha	0 ha	酪農、肉用牛、飼料作物	0.3 ha	0 ha	34	
35	認農		水稻、大豆	0.3 ha	0 ha	水稻、大豆	0.3 ha	0 ha	35	
36	認農		肉用牛	0.2 ha	0 ha	肉用牛	0.2 ha	0 ha	36	
37	認農		水稻、ぶどう、しょうが	0.1 ha	0 ha	水稻、ぶどう、しょうが	0.1 ha	0 ha	37	
38	認農		水稻、肉用牛、大豆、 その他野菜	0.1 ha	0 ha	水稻、肉用牛、大豆、 その他野菜	0.1 ha	0 ha	38	
39	認農		肉用牛	0.0 ha	0 ha	肉用牛	0.0 ha	0 ha	39	農業用施設（畜産）
40	認農		養豚	0.0 ha	0 ha	養豚	0.0 ha	0 ha	40	農業用施設（畜産）

